

青森県立保健大学年報

2010(平成22年度)第12号

目 次

概 要

大学設立の理念・目標について	1
教育研究組織・大学組織図	2

教 育 活 動

健 康 科 学 部	4
平成22年度授業時間割	4
カリキュラム	18
ゲストスピーカー招聘状況	21
臨地教授等による事前学外実習の実施状況	23
特別講義実施状況	24
臨地教授等一覧	25
平成23年度入学者選抜結果	29
平成23年度編入学者選抜結果	31
平成22年度卒業生の進路	32
定員管理と入退学の状況	34
国家試験合格率一覧	36

大 学 院	37
平成22年度授業時間割	37
カリキュラム	45
学位授与	50
平成23年度大学院入学者選抜試験結果	51
定員管理と入退学の状況	52

そ の 他	53
教育改善への取り組み（FD、授業評価、等）	53
図書・情報インフラ	56

学 生 生 活

学生への経済的支援	59
就職対策への取り組み	60
生活相談	61

研 究 活 動

業績集	63
看護学科	63
理学療法学科	74
社会福祉学科	84
栄養学科	89
地域連携国際センター	102
学外からの研究費、研究補助金、研究助成金などの受け入れ状況	103

奨学交付金の受け入れ状況	105
社 会 活 動	
地域貢献諸活動	107
地域連携・国際センター	
平成 22 年度地域連携・国際センタープロジェクト関連事業	131
看護専門職員研修	131
社会福祉研修	134
研修科事業報告	135
第 10 回ケアマネジメントフォーラム IN 青森	135
卒業生を対象とした研修会	136
研修企画・実施助成事業	139
教育改善研究助成	139
ブックレット作成事業	139
各事業実績報告	140
国際科事業報告	150
平成 22 年度 韓国仁済大学校との日韓国際交流報告	150
英語教員の地域交流	151
海外研修・交流報告会	152
講演会	153
研究推進・知的財産センター	
研究開発科事業報告	155
2010 年度研究推進・知的財産センターの主な事業報告	155
研究に関する総合的企画運営、若手研究者・教員の研究能力育成	155
産学官連携研究の推進と環境整備	155
研究成果の発表の場の提供（青森県保健医療福祉研究発表会の企画と実施）	159
研究推進・知的財産センターの広報	164
研究推進・知的財産センター、研究開発科の運営方法	165
平成 22 年度研究開発科委員会開催状況	165
平成 22 年度に実施された健康科学特別研究	165
平成 22 年度健康科学特別研究募集要領	165
平成 22 年度健康科学特別研究の課題一覧	166
平成 22 年度に実施された実用技術開発研究、官学連携・地域貢献促進研究	167
平成 22 年度実用技術開発研究募集要領	167
平成 22 年度官学連携・地域貢献促進研究募集要領	168
平成 22 年度実用技術開発研究、官学連携・地域貢献促進研究の課題一覧	170
平成 22 年度に実施されたチャレンジ研究	170
平成 22 年度チャレンジ研究募集要領	170
平成 22 年度チャレンジ研究の課題一覧	172
平成 22 年度に実施されたスタート研究	172
平成 22 年度スタート研究募集要領	172

平成 22 年度スタート研究の課題一覧	173
特別研究報告	175
基盤研究報告	175
研究推進・知的財産センター指定型研究報告	188
実用技術開発研究報告	188
官学連携・地域貢献促進研究報告	201
チャレンジ研究報告	210
スタート研究報告	219

資 料

予 算	231
各種委員会委員名簿	232
職員名簿	234
校歌 新たな未来へ	239
編集後記	241

概 要

青森県立保健大学の教育理念

〔学部 健康科学部〕

4学科独自のカリキュラムを履修することにより「専門性 (Professionality)」を育み、さらに専門性を尊重しながら「連携・協調 (Coordination・Collaboration)」を図り、「Human care」を実践・統合できる人材育成を目指しています。

「Human care」を通し、「健康と生活の質の向上」に貢献できる看護師、保健師、助産師、理学療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、管理栄養士を養成します。

1. 人間性豊かな人材の育成

生命に対する深い畏敬の念と論理観に満ち、ケアの対象である人間を総合的に把握し、かつ理解できる幅広い教養を身につけた人間性豊かな人材の育成を目指します。

2. 保健医療福祉の発展に寄与できる人材の育成

看護、理学療法、社会福祉、栄養のそれぞれの専門性に基づいて、広く全般的な相互理解を深め、保健医療福祉の連携・協力に向けて、その能力を発揮し、中核的な役割を果たすことのできる人材の育成を目指します。

3. 地域特性へ対応できる人材の育成

全国平均を上回る高齢化の進行、成人病による死亡率や乳幼児死亡率が高い青森県の課題の解決に向け、気候、風土、生活習慣などの地域の特性を理解し、それを考慮しながら問題解決へのアプローチができる人材の育成を目指します。

4. グローバル化への対応

外国語等のコミュニケーション手段を用い、国際交流の場において、その風土・歴史・人・文化を理解し、グローバルな視野をもって活躍できる人材の育成を目指します。

5. 地域社会への貢献

地域で生活する住民の方々が持つ多様な保健医療福祉ニーズに応え、公開講座や地域の専門分野との共同研究など、生涯学習の中核としての機能を持たせるとともに、大学が持つ専門機能や施設・設備を広く県民に開放して、「開かれた大学」を目指します。

〔大学院 健康科学研究科〕

生命の尊重と個人の尊厳を基本とし、独創的な研究活動を通して社会の発展と人類の幸福に寄与できる研究者及び教育者の育成、ならびに、保健医療福祉の連携・統合をはかる教育を推進して人間性豊かな高度専門職業人を育成します。

博士前期課程においては、主として研究能力を備えた高度専門職業人の育成を目指し、博士後期課程においては、博士前期課程で獲得した能力を基礎とし、自立した研究者として学問の発展性を追求し、かつ分野を超えた開拓的研究活動を行い、さらに、高度な専門的業務に豊かな学識を適用し、保健医療福祉の分野で活躍できる有為な教育者ならびに知的技術者を育成します。

平成22年度 公立大学法人青森県立保健大学 運営組織図

H22.6.21 現在

